

春日井市国保の大幅引き上げが計画されていますー引き上げ反対の声を強めよう！

加入者1人あたり8,500円以上(1年で)の引き上げ

春日井市の国保運営協議会に、年間7億円もの負担増を求める、国保税の引き上げ案が諮問されました。国保加入者1人あたり、平均して1年に8,500円以上の負担増になる計画です。

春日井市の国保会計は赤字が続き、赤字補填のため繰り返し国保税の引き上げが行われてきました。国保税は20年間で1.4倍の金額になっています。



値上げの元凶は国の責任放棄

国保財政が赤字続きになってきた大元には、国の負担がどんどん引き下げられ、地方自治体や加入者に負担がしわ寄せされてきたことがあります。また所得の低下により、〈加入者の2割〉が滞納状態になるなど、払いたくても払えない状況も広がっています。

滞納者には制裁的措置も

国保税滞納者には「短期被保険者証」を交付するにとどまらず、『留め置き』と称して保険証を発行しない状況もあることが、春日井市交渉などでも明らかになっており、今後さらにこのような「制裁的行政」がすすめられることも予想されます。

国保税引き上げ反対の声を強めよう

春日井市の国保は、加入者の多くが自営業者や年金生活者、非正規雇用の労働者で、7割の世帯は年間所得が200万円以下(2011年度)という実態です。加入世帯の平均所得はこの20年間で、245万円から165万円へと減少しています。

収入は増えず、負担ばかり増えていく中で、さらなる、国保税の引き上げはとても耐えられません。『引き上げノー』の声を強めて行政に突きつけましょう。今回の「引き上げ」案は3月議会で審議されます。**今回の商工新聞に署名用紙を折り込みました。署名をたくさん集めて春日井市へ届けましょう。**

第4回 税金相談員学習会に18名が参加、「減価償却費の計算」などを学習しました

22日、税金相談員学習会の第4弾で、減価償却費の計算など「決算」についての学習会を行い18名が参加しました。「どうしても減価償却はよくわからない」「去年の計算をみてもどうやって計算したかわからない」など減価償却費の計算方法について質問が集中。基本的な計算方法について説明を受け



た後、例題に挑戦、実際に減価償却費の計算をやってみました。



20日、豊川稲荷へ
商売繁盛、家内安全を祈
願してきました

次が最後です税金学習会

1月30日(水) 消費税の計算と申告書の作成
誰でも参加できます いずれも午後7時～ 事務所

たくみネット、メンバー募集のお知らせ

たくみネットは、春日井民商の建設業の会員で構成されています。現在のメンバーは16名です。来春、新しいチラシを作成するにあたり、新メンバーを募集します。詳しくは、山崎までお問い合わせ下さい。(090-8320-4118)

パソコン会計入力会

毎週木・金曜日の午前10時～12時
(3月8日(金)まで)
場所 民商事務所2F